

## 【高尾駅】

明治34年(1901)開業、元は浅川駅。神社仏閣のような駅舎は、大正天皇御大葬の際に棺を送り出した新宿御苑仮停車場を昭和2年(1927)に移築したもの。

## 【甲州街道】

五街道の1つ。当初甲府まで、1610年(慶長15)下諏訪まで延長、約220km、45宿場。小仏と鶴瀬に関所を設置。参勤交代の大名も高遠、高島、飯田の三藩だけ。当初は「甲州海道」と呼ばれていたが、海に面していないことから、「甲州道中」そして「甲州街道」と改名。

## 【小仏関跡】

関所は、天正6年(1578)に小仏峠に設けられたが、天正8年に駒木野に移され、故に小仏関とも駒木野関とも。跡には、手形石、手付石が残る。関は明治2年に廃止、昭和3年国指定史跡。

## 【宝珠寺】 (臨済宗南禅寺派)

5世紀の開基と伝わり、断食道場としても知られている。階段の中腹に都天然記念物の「カゴノキ」は幹が鹿の子模様になり「鹿子の木」から。奥の山王神社前に「甲府三度飛脚中」と彫られた文久2年(1862)建造の常夜燈がある。三度飛脚とは、一月に三度往復した飛脚、被った菅笠が三度笠。

## 【小仏峠】

景信山と城山との鞍部、武蔵と相模の国境。、国土地理院では標高548m。 **地名由来**: 奈良時代、行基菩薩が寺を建て、小さな仏を安置したところからという。 「明治天皇御休所跡及御野立所」の碑と三条実美の歌碑が建つ。

## 【小原宿本陣】 (県指定重要文化財)

県内に唯一建物が残る本陣・旧清水家。清水家は庄屋を勤める問屋でもあった。大名が泊まった上段の間からの築山の眺めがよい。小原宿は甲州街道9番目の宿場。西方与瀬宿を通り吉野宿へ続く片継宿場。